

市民センターだより

由木の里

歴史とぬくもりのあるまち由木中央

第71号

2024年3月15日(令和6年)

発行・編集

由木中央住民協議会広報部

由木中央市民センター

八王子市下柚木2丁目10番地の6

TEL (676) 8123

(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団



本年もよろしくお願ひします

会長 藤原 勝

ここ4年にわたり、コロナにより日本国中が閉塞状態でありました。今年こそこの閉塞状態から抜け出せると思っていたが、新年早々、能登半島を地震が襲いました。日が経つにつれその被害の大きさが判明し、地震の脅威を改めて思い知らされました。停電や断水により被災者は今なお困難な生活を強いられています。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、このような災害時、住民同士のふれあいが心身の支えに大きな役割を果たすと言われており、地域社会の中で町会や自治会が日頃の活動において取り組んでいる住民同士がふれあいを図り、親密度を増すことの大切さが再認識されています。私たちも由木中央住民協議会においてはかねてより、由木中央市民センター

の懇親を深めることを図つて参りましたが、長年にわたるコロナ流行により思うような活動ができませんでした。

昨年5月、コロナが感染法上の2類から5類に変更になったことによりようやくほぼコロナ以前と同様の活動に戻すことができましたが、コロナが完全に収束したわけではないため今後も流行状況には常に注視していく必要があると考えています。

この現状ではあります。ですが、来年度においても住民の皆様のふれあいの場を提供することが最大の役割であるとの認識のもと、市民センターまつりを中心に行き、事業を実施し住民の懇親を深めてゆく所存です。

住民の皆様におかれましては由木中央住民協議会を本年もよろしくお願ひ申し上げます。

まつりを中心に地域住民の懇親を深めることを図つて参りましたが、長年にわたるコロナ流行により思うような活動ができませんでした。

昨年5月、コロナが感染法上の2類から5類に変更になったことによりようやくほぼコロナ以前と同様の活動に戻すことができましたが、コロナが完全に収束したわけではありませんため今後も流行状況には常に注視していく必要がありますと想っています。

この現状ではあります。ですが、来年度においても住民の皆様のふれあいの場を提供することが最大の役割であるとの認識のもと、市民センターまつりを中心に行き、事業を実施し住民の懇親を深めてゆく所存です。

住民の皆様におかれましては由木中央住民協議会を本年もよろしくお願ひ申し上げます。

第36回由木中央市民センターまつり開催

第36回由木中央市民センターまつりを11月4日（土）、5日（日）に開催しました。

前年度は新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、規模や内容を縮小しての開催でしたが、今回は基本的にコロナ禍前の内容での開催となりました。

4日（土）午前中は、住民協議会委員により会場設営を行い、午後からは前日祭として「ソフトバレーボール大会」を体育室で開催。9チームが参加して熱戦を繰り広げました。

また、市民センター2階では各団体による作品展示や「高齢者あんしん相談センター堀之内」が主宰する「健康・介護相談」が実施されました。



5日（日）は前日に引き続き、2階会場での「作品展示」、「健康・介護相談」に加え、体育室で「ふれあいステージ」が開催されました。

午前中は力強い越野太鼓に始まり、シニアアカラブによる合唱や踊り、由木西小学校合唱団の合唱などが披露されました。



また、「野菜販売」、「お茶席」、「コーヒーコーナー」も復活した他、新たに八王子市シルバー人材センターによる風船の配付、活動PRも行われました。





ふれあいステージ



作品展示

令和5年度 地域ふれあいのつどい
第36回 由木中央市民センターマツリ

11月4日(土)
12:30~16:00
ソフトバレーボール大会
作品展示
健康・介護相談

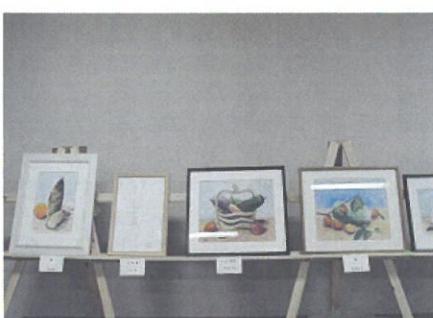
11月5日(日)
9:30~15:30
農産物販売
ふれあいステージ(10:00~)
作品展示
健康・介護相談
お茶会

輪投げ
ゴム風船・エコたわし等飾布
(ハミテガシルバーカー人材センター)

会場
由木中央市民センター

案内図

主催 由木中央住民協議会 協賛 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい団体
(社福)八王子市社会福祉協議会



地域ふれあい講座

聴き入っていました。



12月3日（日）午後2時から由木中央市民センター2階会議室を会場に元NHKキャスターで現在（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団理事長の村松眞貴子氏を講師に迎え「笑顔で広げる地域の絆」をテーマに地域ふれあい講座を開催しました。参加者は45名でした。



第36回新春書初め大会

1月7日（日）由木中央市民センター2階会議室で「第36回新春書初め大会」を開催しました。

参加者数は会場で「席書」された方が42名。作品を提出された方が32名で合わせて74名でした。

参加者の皆さんは話し声一つない程よい緊張感

講座の後半には村松講師による朗読が行われ、参加者の皆さんは静かに



2月25日（日）由木中央市民センター体育室で令和5年度スポーツ大会として「ソフトバレーボール大会」を開催しました。

大会には8チーム40名の選手が参加。2つのコートに分かれリーグ戦を行った後、各コート1位のチームによる決勝戦を行った結果「南陽台A」チームが第1位となりました。

編集後記

新しい年の幕開けは、

1日の能登半島地震、2日の羽田空港での航空機の衝突炎上事故と衝撃的なニュースが飛び込んできました。今年の災難は

これで全て出し切り、あとは落ち着いた生活がでることを願います。

新型コロナにより住民が集う活動もここ数年大きく制限されてきました。住民が集い交流することの大切さを知りました。今年こそなんの心配もなく、ふれあい活動ができる期待します。

の指導で書初めに取り組んでいました。

スポーツ大会 開催される

